

名称	75 殉国諸精霊位	所在地	対馬市厳原町豆酩 3342 番地
建立時期	昭和 28 年 4 月 25 日	戦没者	日清戦争、日露戦争以降太平洋戦争までの豆酩地区出身戦没者 74 柱
問合せ先	金剛院(0920-57-0047)		
			

名称	76 慰霊碑	所在地	対馬市厳原町小茂田
建立時期	昭和 30 年 1 月	戦没者	日清戦争、日露戦争以降太平洋戦争までの旧佐須村出身戦没者 136 柱
問合せ先	対馬市福祉部福祉課 (0920-58-1119)		
			

名称	77 忠霊塔	所在地	対馬市美津島町雞知乙 613 番地
建立時期	不明	戦没者	美津島町出身戦没者で戦没者数等不明
問合せ先	対馬市福祉部福祉課 (0920-58-1119)		
			

名称	78 慰霊の塔	所在地	対馬市豊玉町仁位 94 番地
建立時期	平成 9 年 3 月	戦没者	日清戦争、日露戦争、日中戦争、太平洋戦争の豊玉町出身戦没者 225 柱
問合せ先	対馬市福祉部福祉課 (0920-58-1119)		
			

名称	79 殉国者慰霊之碑	所在地	対馬市峰町三根 987
建立時期	昭和 45 年 9 月 23 日	戦没者	峰町出身戦没者 161 柱
問合せ先	対馬市福祉部福祉課 (0920-58-1119)		
			

名称	80 慰霊碑	所在地	対馬市上県町檜滝 338 番地
建立時期	昭和 53 年 5 月 20 日	戦没者	上県町出身の陸海軍軍人戦没者 186 柱
問合せ先	対馬市福祉部福祉課 (0920-58-1119)		
			

名称	81 殉国慰霊碑	所在地	対馬市上対馬町比田勝 657,658 番地
建立時期	昭和 41 年 9 月	戦没者	日露戦争、満州事变、日中戦争、太平洋戦争の上対馬町出身戦没者 306 柱
問合せ先	対馬市福祉部福祉課 (0920-58-1119)		
			

名称	82 戦没者慰霊之碑	所在地	対馬市厳原町久田 784 番地付近
建立時期	不明	戦没者	久田地区出身の戦没者で戦没者数不明
問合せ先	対馬市福祉部福祉課 (0920-58-1119)		
			

名称	83 殉国の碑 (渡良地区)	所在地	杵岐市郷ノ浦町渡良東触 19 番地
建立時期	昭和 54 年 12 月	戦没者	日清、日露、日中戦争の戦役から太平洋戦争にいたる渡良地区出身戦没者 176 柱
問合せ先	杵岐市市民福祉課 (0920-48-1111)		
			

名称	84 忠魂碑(初山地区)	所在地	吉崎市郷ノ浦町初山西触 1063 番地 1
建立時期	大正 10 年 3 月	戦没者	太平洋戦争による初山地区出身戦没者 103 柱
問合せ先	吉崎市市民福祉課 (0920-48-1111)		
			

名称	85 殉国之碑(志原地区)	所在地	吉崎市郷ノ浦町大原触 110 番地 3
建立時期	昭和 29 年 3 月 10 日	戦没者	日清、日露、日中戦争、太平洋戦争など による志原地区出身戦没者 64 柱
問合せ先	吉崎市市民福祉課 (0920-48-1111)		
			

名称	86 殉国の碑(武生水地区)	所在地	吉崎市郷ノ浦町本村触 504 番地
建立時期	昭和 29 年 3 月	戦没者	日清、日露、太平洋戦争の武生水地区 出身軍人・軍属戦没者 179 柱
問合せ先	吉崎市市民福祉課 (0920-48-1111)		
			

名称	87 忠魂碑(柳田地区)	所在地	吉岐市郷ノ浦町柳田触 186 番地
建立時期	明治 39 年	戦没者	日清、日露、太平洋戦争の柳田地区出身戦没者 77 柱
問合せ先	吉岐市市民福祉課 (0920-48-1111)		
			

名称	88 殉国之碑(沼津地区)	所在地	吉岐市郷ノ浦町長峰本村触 836 番地 3
建立時期	昭和 51 年 3 月	戦没者	太平洋戦争までの沼津地区出身戦没者 133 柱
問合せ先	吉岐市市民福祉課 (0920-48-1111)		
			

名称	89 靖国之碑(勝本・鯨伏地区)	所在地	吉岐市勝本町新城西触 586 番地 2
建立時期	昭和 30 年 5 月	戦没者	日清戦争以降太平洋戦争までの勝本町出身戦没者 436 柱
問合せ先	吉岐市市民福祉課 (0920-48-1111)		
			

名称	90 忠霊塔(箱崎地区)	所在地	彦岐市芦辺町瀬戸浦 233 番地
建立時期	昭和 32 年 9 月	戦没者	日清戦争以降の箱崎地区出身戦没者 222 柱
問合せ先	彦岐市市民福祉課 (0920-48-1111)		
			

名称	91 殉国之碑(田河地区)	所在地	彦岐市芦辺町諸吉仲触 82 番地 7
建立時期	昭和 29 年 9 月	戦没者	日清、日露、太平洋戦争、原爆犠牲者、 軍属徴用工等の田河地区出身戦没者 281 柱
問合せ先	彦岐市市民福祉課 (0920-48-1111)		
			

名称	92 嗚呼萬霊供養塔(石田地区)	所在地	彦岐市石田町石田西触 1373 番地
建立時期	昭和 42 年 5 月	戦没者	日清、日露、第二次世界大戦など石田 町内戦没者 235 柱
問合せ先	彦岐市市民福祉課 (0920-48-1111)		
			

名称	93 報國誠忠英魂碑	所在地	吉岐市芦辺町国分本村触 1348 番地 2
建立時期	明治 42 年	戦没者	明治以降第二次大戦までの吉岐出身戦没者 1,900 余柱
問合せ先	吉岐市市民福祉課 (0920-48-1111)		
			

名称	94 平和記念碑	所在地	五島市池田町 1-2
建立時期	昭和 46 年 11 月	戦没者	福江地区出身の戦没者 1,033 柱 (戦没時期は不明)
問合せ先	福江地区遺族会事務局 (0959-72-5147)		
			

名称	95 殉国慰霊の塔(富江地区)	所在地	五島市富江町狩立 417-1
建立時期	昭和 31 年 9 月	戦没者	戊辰の役から太平洋戦争までの富江地区出身の戦没者 707 柱
問合せ先	富江地区遺族会事務局 (0959-86-0078)		
			

名称	96 殉国塔	所在地	五島市玉之浦町玉之浦 778
建立時期	昭和 37 年 11 月	戦没者	日清戦争から太平洋戦争までの玉之浦地区出身の戦没者 318 柱
問合せ先	玉之浦地区遺族会事務局 (0959-88-2200)		
			

名称	97 殉国慰霊之塔(三井楽地区)	所在地	五島市三井楽町濱ノ畔 1109
建立時期	昭和 34 年 8 月	戦没者	日露戦争から太平洋戦争までの三井楽地区出身の戦没者 346 柱
問合せ先	五島市三井楽支所 (0959-84-3115)		
			

名称	98 殉国慰霊碑	所在地	五島市奈留町浦 1572
建立時期	昭和 51 年 11 月	戦没者	太平洋戦争での奈留地区出身の戦没者 230 柱
問合せ先	奈留地区遺族会事務局 (0959-64-3939)		
			

名称	99 忠魂碑	所在地	五島市岐宿町岐宿 240
建立時期	不明	戦没者	岐宿地区出身の戦没者 470 柱 (戦没時期は不明)
問合せ先	岐宿地区遺族会事務局 (0959-82-1525)		
			

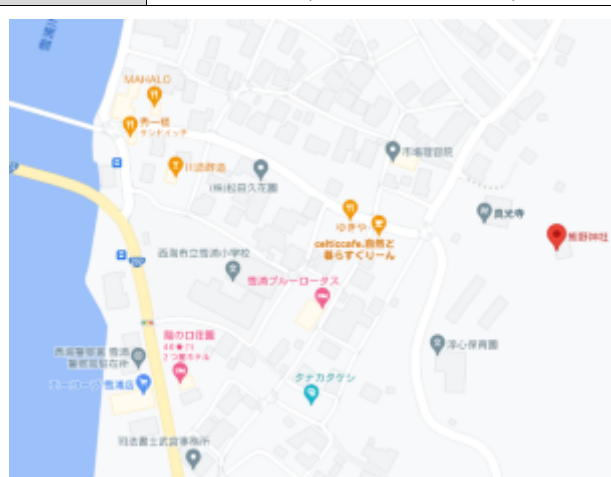
名称	100 殉国者之碑	所在地	西海市大瀬戸町多以良内郷 1129-1
建立時期	昭和 35 年 3 月	戦没者	日清戦争、日露戦争、太平洋戦争の多以良地区出身戦没者 63 柱
問合せ先	西海市福祉課(0959-37-0069)		
			

名称	101 忠魂碑	所在地	西海市大瀬戸町松島内郷 298
建立時期	昭和 32 年 10 月	戦没者	原爆犠牲者、太平洋戦争の松島地区出身戦没者 146 柱
問合せ先	西海市福祉課(0959-37-0069)		
			

名称	102 殉国碑	所在地	西海市大瀬戸町瀬戸西濱郷 55-1
建立時期	昭和 33 年 4 月	戦没者	日清戦争、日露戦争、太平洋戦争の 瀬戸地区出身戦没者 270 柱
問合せ先	西海市福祉課(0959-37-0069)		



名称	103 忠魂碑	所在地	西海市大瀬戸町雪浦下郷 1213-1
建立時期	大正 9 年 3 月 10 日	戦没者	日清戦争、日露戦争以降の雪浦地区 出身戦没者(戦没者数は不明)
問合せ先	西海市福祉課(0959-37-0069)		



名称	104 やすらぎの塔	所在地	西海市西彼町喰場郷 1150
建立時期	昭和 56 年 2 月	戦没者	西南の役以降、太平洋戦争までの西彼 町出身戦没者 504 柱
問合せ先	西海市福祉課(0959-37-0069)		



名称	105 平和之礎	所在地	西海市西海町木場郷 401
建立時期	平成 7 年 11 月 5 日	戦没者	日清戦争、日露戦争、太平洋戦争の西海町出身戦没者 630 柱
問合せ先	西海市福祉課(0959-37-0069)		
			

名称	106 殉国慰霊之碑	所在地	西海市西海町木場郷 401
建立時期	昭和 28 年 12 月	戦没者	日清戦争、日露戦争、太平洋戦争の瀬川地区出身戦没者 262 柱
問合せ先	西海市福祉課(0959-37-0069)		
			

名称	107 忠魂碑	所在地	西海市西海町木場郷 401
建立時期	昭和 3 年 3 月	戦没者	日清戦争、日露戦争、太平洋戦争の面高地区出身戦没者 185 柱
問合せ先	西海市福祉課(0959-37-0069)		
			

名称	108 慰霊塔	所在地	西海市西海町木場郷 401
建立時期	昭和 28 年 12 月	戦没者	日清戦争、日露戦争、太平洋戦争の七釜地区出身戦没者 183 柱
問合せ先	西海市福祉課(0959-37-0069)		
			

名称	109 平和塔	所在地	西海市大島町 5840
建立時期	昭和 26 年 9 月 24 日	戦没者	日露戦争、太平洋戦争の大島出身戦没者 288 柱
問合せ先	西海市福祉課(0959-37-0069)		
			

名称	110 慰霊塔	所在地	西海市崎戸町蛸浦郷 1391-2
建立時期	昭和 33 年 1 月	戦没者	崎戸町出身の戦没者 502 柱
問合せ先	西海市福祉課(0959-37-0069)		
			

名称	111 多比良忠魂碑	所在地	雲仙市国見町温泉神社内
建立時期	昭和 6 年 9 月吉日	戦没者	旧国見町多比良地区出身の日清戦争、日露戦争、太平洋戦争の戦没者 198 柱
問合せ先	雲仙市福祉課 (0957-47-7871)		



名称	112 土黒忠魂碑	所在地	雲仙市国見町烏兔神社内
建立時期	大正 5 年 4 月 18 日	戦没者	旧国見町土黒地区出身の日清戦争、日露戦争、太平洋戦争の戦没者 195 柱
問合せ先	雲仙市福祉課 (0957-47-7871)		



名称	113 神代忠魂碑	所在地	雲仙市国見町淡島神社内
建立時期	昭和 41 年 4 月 1 日	戦没者	旧国見町神代地区出身の日清戦争、日露戦争、太平洋戦争の戦没者及び自衛隊の殉死者の 195 柱
問合せ先	雲仙市福祉課 (0957-47-7871)		



名称	114 戦没者慰霊社	所在地	雲仙市瑞穂町西郷八幡神社内
建立時期	昭和 21 年 3 月 10 日	戦没者	旧瑞穂町西郷地区出身の日露戦争、太平洋戦争の戦没者 248 柱
問合せ先	雲仙市福祉課 (0957-47-7871)		



名称	115 慰霊之塔	所在地	雲仙市瑞穂町大正小学校前
建立時期	平成 2 年 5 月	戦没者	旧瑞穂町大正地区出身者の日露戦争、太平洋戦争の戦没者 120 柱
問合せ先	雲仙市福祉課 (0957-47-7871)		



名称	116 忠魂碑	所在地	雲仙市吾妻中学校グラウンド南角
建立時期	昭和 32 年 5 月	戦没者	吾妻町出身戦没者 483 柱
問合せ先	雲仙市福祉課 (0957-47-7871)		



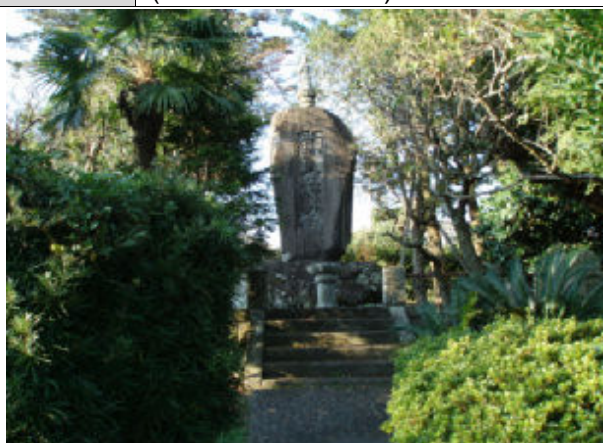
名称	117 忠魂碑	所在地	雲仙市愛の夢未来センター敷地内
建立時期	昭和 50 年 4 月吉日	戦没者	旧愛野町出身の日清戦争、日露戦争及び太平洋戦争の戦没者 248 柱
問合せ先	雲仙市福祉課 (0957-47-7871)		



名称	118 忠霊塔	所在地	雲仙市千々石町橋神社内
建立時期	昭和 35 年 9 月 27 日	戦没者	西南の役以降太平洋戦争までの旧千々石町出身戦没者 460 柱
問合せ先	雲仙市福祉課 (0957-47-7871)		



名称	119 顕忠塔	所在地	雲仙市小浜町伝明寺内
建立時期	昭和 15 年	戦没者	旧小浜町出身の戦没者 607 柱
問合せ先	雲仙市福祉課 (0957-47-7871)		



名称	120 大東亜戦争慰霊碑魂碑	所在地	雲仙市南串山町八幡神社内
建立時期	昭和 30 年 4 月 12 日	戦没者	旧南串山町出身の太平洋戦争戦没者 309 柱
問合せ先	雲仙市福祉課 (0957-47-7871)		



名称	121 忠霊塔(加津佐町)	所在地	南島原市加津佐町己 244(愛宕団地付近)
建立時期	昭和 18 年 2 月 23 日	戦没者	日清戦争、日露戦争、太平洋戦争の加津佐町出身の戦死者 657 柱
問合せ先	南島原市福祉保健部福祉課 (0957-73-6651)		



名称	122 殉国慰霊塔(口之津町)	所在地	南島原市口之津町甲 15(口之津公園内)
建立時期	昭和 27 年 12 月 31 日	戦没者	西南の役、日清戦争、日露戦争以降太平洋戦争までの口之津町出身の戦没者 717 柱
問合せ先	南島原市福祉保健部福祉課 (0957-73-6651)		



名称	123 殉国慰霊塔(南有馬町)	所在地	南島原市南有馬町乙 856-1(八幡神社境内)
建立時期	昭和 35 年 7 月	戦没者	日清戦争、日露戦争、太平洋戦争の南有馬町出身の戦没者 458 柱
問合せ先	南島原市福祉保健部福祉課 (0957-73-6651)		
			

名称	124 殉国之霊(北有馬町)	所在地	南島原市北有馬町己 601(春日神社境内)
建立時期	明治 35 年 12 月 22 日	戦没者	太平洋戦争における北有馬町出身の戦没者 389 柱
問合せ先	南島原市福祉保健部福祉課 (0957-73-6651)		
			

名称	125 租霊碑(西有家町)	所在地	南島原市西有家町里坊 2025(天満神社境内)
建立時期	昭和 25 年 2 月 5 日	戦没者	日露戦争、日中戦争以降太平洋戦争までの西有家町出身の戦没者 580 柱
問合せ先	南島原市福祉保健部福祉課 (0957-73-6651)		
			

「Google マップ」を使用

名称	126 西部地区忠魂碑(有家町)	所在地	南島原市有家町山川 1277(温泉神社境内)
建立時期	不明	戦没者	日露戦争以降太平洋戦争までの有家町出身の戦没者 490 柱
問合せ先	南島原市福祉保健部福祉課 (0957-73-6651)		



名称	127 東部地区忠魂碑(有家町)	所在地	南島原市有家町大苑 498(八幡神社境内)
建立時期	昭和 34 年 3 月 21 日	戦没者	太平洋戦争における旧堂崎村出身の戦没者 220 柱
問合せ先	南島原市福祉保健部福祉課 (0957-73-6651)		



名称	128 忠霊塔(布津町)	所在地	南島原市布津町乙 1800-3(布津こんぴら公園)
建立時期	昭和 17 年 10 月	戦没者	日清戦争以降太平洋戦争までの布津町出身の戦没者 343 柱
問合せ先	南島原市福祉保健部福祉課 (0957-73-6651)		



名称	129 殉国英霊塔(深江町)	所在地	南島原市深江町丁 3142(諏訪神社境内)
建立時期	昭和 27 年 4 月 28 日	戦没者	日露戦争、日中戦争、太平洋戦争までの 深江町出身の戦没者 361 柱
問合せ先	南島原市福祉保健部福祉課 (0957-73-6651)		
			

名称	130 忠魂碑	所在地	西彼杵郡長与町吉無田郷 52
建立時期	昭和 31 年 12 月	戦没者	戊辰戦争以降の戦病死した軍人・軍属、 徴用工員・学徒動員として活動中原子爆 弾等による戦災没者 552 柱
問合せ先	長与町福祉課 (095-883-1111)		
			

名称	131 慰霊碑	所在地	西彼杵郡時津町浦郷 34 番地 3
建立時期	昭和 61 年 4 月	戦没者	時津町出身戦没者 491 柱
問合せ先	時津町福祉課 (095-882-2211)		
			

名称	132 殉国記念碑	所在地	東彼杵町蔵本郷 1897 番地 14
建立時期	不明	戦没者	東彼杵町彼杵地区出身の戦没者 269 柱
問合せ先	東彼杵町町民課 (0957-46-1155)		
			

名称	133 招魂碑	所在地	東彼杵町平似田郷 841 番地 1
建立時期	明治 43 年 12 月 11 日	戦没者	東彼杵町千綿地区出身の戦没者 249 柱
問合せ先	東彼杵町町民課 (0957-46-1155)		
			

名称	134 慰霊之塔	所在地	東彼杵郡川棚町百津郷 (城山公園内)
建立時期	昭和 32 年 12 月 11 日	戦没者	明治 10 年(1877)西南の役以降の戦争における川棚町出身戦没者 518 柱
問合せ先	川棚町住民福祉課 (0956-82-5411)		
			

名称	135 特攻殉国の碑	所在地	東彼杵郡川棚町新谷郷 819 番地 2
建立時期	昭和 42 年 5 月 27 日	戦没者	太平洋戦争の震洋特別攻撃隊、魚雷艦艇、伏竜特別攻撃隊及び回天隊戦没者 3,511 柱
問合せ先	川棚町教育委員会 (0956-82-2064)		




名称	136 忠魂碑(東地区招魂場)	所在地	東彼杵郡波佐見町井石郷 2203
建立時期	昭和 28 年 9 月	戦没者	旧上波佐見町出身の戦没者 379 柱
問合せ先	波佐見町住民福祉課 (0956-85-2111)		



名称	137 忠魂碑(南地区招魂場)	所在地	東彼杵郡波佐見町川内郷 61-2
建立時期	昭和 30 年	戦没者	旧下波佐見村出身の戦没者 233 柱
問合せ先	波佐見町住民福祉課 (0956-85-2111)		



名称	138 忠魂碑(番岳)	所在地	北松浦郡小値賀町笛吹郷 2573-6
建立時期	昭和 14 年	戦没者	戊申の役以降太平洋戦争までの小値賀町出身の戦没者 499 柱
問合せ先	小値賀町福祉事務所 (0959-56-3111)		
			

名称	139 佐々町忠魂碑	所在地	佐々町羽須和免 404(三柱神社境内)
建立時期	昭和 3 年 10 月 20 日	戦没者	戊辰戦争から太平洋戦争までの佐々町出身の戦没者 308 柱
問合せ先	三柱神社、佐々町役場住民福祉課 (0956-62-2416、0956-62-2101)		
			

名称	140 殉国慰霊之塔(若松地区)	所在地	新上五島町若松郷 455 - 11
建立時期	昭和 35 年 8 月	戦没者	旧若松町出身の戦没者 385 柱
問合せ先	社協若松支所内、若松遺族会事務局 (0959-43-5530)		
			

名称	141 慰霊碑(浦桑地区)	所在地	新上五島町浦桑郷 1122
建立時期	昭和 49 年 8 月	戦没者	浦桑郷出身で太平洋戦争による戦没者 39 柱
問合せ先	社協新魚目支所内、新魚目遺族会事務局 (0959-54-2100)		



名称	142 慰霊塔(有川地区)	所在地	新上五島町有川郷 809(有川中学校に隣接)
建立時期	昭和 27 年 5 月	戦没者	旧有川町出身で太平洋戦争による戦没者 335 柱
問合せ先	社協有川支所内、有川遺族会事務局 (0959-42-1359)		



名称	143 戦没者記念碑(奈良尾地区)	所在地	新上五島町奈良尾郷 711 - 4(西海寺境内)
建立時期	昭和 29 年 7 月	戦没者	S.12.7.7 ~ S.20.8.15 までの戦争で戦病 死した奈良尾郷出身の旧軍人・軍属 128 柱
問合せ先	社協奈良尾支所内、奈良尾遺族会事務局 (0959-44-1015)		



名称	144 石碑建立記念碑(青方地区)	所在地	新上五島町青方郷 1085 - 3
建立時期	昭和 28 年 6 月(平成 18 年 8 月再整備)	戦没者	青方郷出身の戦没者 105 柱
問合せ先	社協上五島支所内、上五島遺族会事務局(0959-52-2593)		



長崎県戦後 50 周年平和記念事業 / 平和記念文集 (平成 8 年 3 月長崎県・長崎県教育委員会発行) に掲載された 77 編の中から平和についての意見文 1 編をご紹介します。

～ 島原の子守歌によせて ～ 西彼杵郡長与町 近藤哲夫様

昭和 20 年 3 月末、学校で勧められて、海軍甲種飛行予科訓練生として、福岡海軍航空隊に入隊することとなり、家を後にしましたが、家族・友人や近所の人々が、手に手に日の丸の小旗を持って、深夜の長と駅まで送ってくれました。次から次へと繰り返し歌われる軍歌に混じって、哀調を帯びた「島原の子守歌」のルーツと言われる歌があり、50 年経った今でも、つい昨日のこのように、耳の底にこびりついています。

征くときゃ 兵隊さんで 征くときゃ 兵隊さんで
帰りは 仏よ 諫早トンネル越しゃ 諫早 トンネル
越しゃ 桐の 箱ばよ ショーカイナ 泣けよ 泣け
泣け 泣けよ 泣け 泣け ハンカチだして
拭いてやる

この歌は、「邪馬台国」論争に火を付けられた“宮崎康平氏”が失明される前のこと、諫早駅で戦死されたのではと思われるご主人の遺骨を抱いた、喪服姿のご婦人の姿を見て、当時島原の何処かで歌われていた俗謡のメロディーに乗せて、口ずさまされたとか。それから、あつというまに広がり、警察から止められたとの噂もなんのその、昭和 19 年頃から軍隊に駆り出されて出征していく人の見送りには、必ず歌われました。

この歌で送られた私達は、早く一人前の搭乗員となり、大空彼方の雲を墓標に定め、日本の繁栄と国民の幸せを願って、神風特別攻撃隊となり、従容として敵艦に体当たりして散華された先輩諸氏の後に続こうと、入隊後は血の汗が出るのではないかと思われる、厳しい訓練に耐えて打ち込みましたが、時既に遅く、乗る飛行機も無く、一部あっても、飛ぶための燃料も不足して、飛行予科訓練生の任は解かれ、私は陸戦隊に配属され終戦を迎えました。

いま、平和となり静かに考えてみると、この歌ほど残酷な歌はありません。別れに際しては、「元気で帰って来てね」「ご無事で…」と言うのが普通ですが、この歌は「帰りには死んで帰って来い」というのですから。

終戦後、暫く経ってから、同じく“宮崎氏”の作詞でレコードに吹き込まれた「島原の子守歌」も、何気なく歌っておられる方が大部分だと思いますが、幾つかの歌詞の中には深い意味が隠されているのではと、自分勝手に解釈しています。

帰りにゃ 寄っちょくれんか 帰りにゃ 寄っちょくれんか
あばら家じゃけんど といも飯や 粟ん飯
といも飯や 粟ん飯 黄金飯ばよ ショーカイナ

「帰りには寄ってください。あばら家ですが、黄金色の、サツマイモご飯か、粟ご飯くらいは有りますよ。」と、単純に考えると、へりくだって言っているようですが、その実は農民でありながら、自分で作った米も、江戸幕府時代は年貢米として、維新後は上納米として、地主に収めた後は、家族を養うだけの十分な量は無く、薩摩芋や粟を多量加えて食いつないだ、悲惨な百姓さんの血の叫びが聞こえて来ると、気がするのは私だけでしょうか。また、姉しゃんな どけ いたろかい 姉しゃんな どけ いたろるか 青煙突のバツタンフル 唐は どんねけ 唐は どんねけ 海の果てばよ ショーカイナ

この歌詞も深く考えてみますと、「姉さんは何処へ行ったのだろう、青い煙突の蒸気船に乗って、唐の国はどのあたりだろうか、海の果てだよ」の底には、年貢米も払えぬ貧しさの故に、一家全員を救うために、犠牲となって涙ながらに、遙か海の彼方の異国に身売りして行った“からゆきさん”といわれる悲しい少女達の悲しい心境が隠されているのではと、考えているのは私の思い過ごしでしょうか。

今は聞くことができませんが、おそらく宮崎氏もこのような気持ちで作詞されたのではないかと、推測しています。

私たちはいま、平和を謳歌していますが、このような残酷な歌で春秋に富む若者を戦場に送ることや、また「島原の子守歌」に隠されたような悲惨な時代が二度と来ないように努力しなければと、つねづね感じています。

